

一次のものは文章・段落・文についてまとめたものである。□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×5問)

○一つのまとまった内容を文字で表したものを

文章

という。

※日常の会話など、音声で表された一まとまりの内容を

談話

という。

○文章の中で、まとまった内容を表す一区切りを

段落

という。

※詩における

連

も同じ発想。

○文章には「。」による切れ目があり、この一続きの言葉の単位を

文

という。

二次の文章を読んで、( ) に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×5問)

中学校生活の中で、一番思い出に残っていることは、三年生の時の合唱コンクールです。

私は歌うことが得意ではありません。音楽の成績もいつも良くないので、合唱コンクールはとても憂うつでした。そんな私の様子をみて、友達が優しく声をかけてくれました。「最後のコンクール、一緒に全力で取り組もう。」この一言で私は変わることができました。

本番の日、不思議なことに私は全く緊張しませんでした。努力の成果が出せるという自信があったからです。

結果は優秀賞でした。一番はとれなかったけれど、クラスの仲が深まったのを感じることができました。このときの経験が私を大きく成長させてくれました。

(1) この文章にはいくつの段落がありますか。(四)

(2) この文章にはいくつの文がありますか。(十一)



(3) 言葉の単位「文・段落・文章」を大きい順に書きなさい。

(文章) ↓ (段落) ↓ (文)

点

一次のものは文・文節・単語についてまとめたものである。□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×3問)

○文章には「。」による切れ目があり、この一続きの言葉の単位を

文

という。

○発音や意味の上で不自然にならないように、文をできるだけ短く区切った

まとまりを

文節

という。

★区切り目に「ね」「き」「よ」などを入れてみるとよい。

○言葉の意味を壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの  
といい、これは言葉としての最小の単位である。

単語

語

二次の文で文節に分けられるところに線(／)を引きなさい。(10点×3問)

- (1) 明日の／給食は／カレーだ。
- (2) 中庭に／ある／桜の木には、／毎年／美しい／花が／咲く。
- (3) 父が／集めて／いる／小説を／破って／しまった。

三次の文を単語に分け、○で囲みなさい。(10点×2問)

- (1) 明日の給食はカレーだ。

- (2) 中庭にある桜の木には、毎年美しい花が咲く。

四次の文の①文節の数②単語の数はそれぞれいくつですか。(10点×2問)

今日の委員会では、来月行う体育祭の  
スローガンを決める予定だ。

- ①文節の数 ( 八 )      ②単語の数 ( 十四 )

点



一次の文の述語を○で囲みなさい。(5点×6問)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| (1) 水族館へ行く。        | (2) 花がとても美しい。       |
| (3) 私の父親は宇宙飛行士だ。   | (4) 教室の机を並べる。       |
| (5) 富士山は日本で一番高い山だ。 | (6) 昨夜は雨が激しく降ったようだ。 |

二次の文の主語を○で囲みなさい。(5点×6問)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| (1) 弟は野球部員だ。        | (2) サッカーは小学生に人気だ。    |
| (3) 先生がプリントを配る。     | (4) 優勝するのはきっと私のクラスだ。 |
| (5) 利根川は日本で一番大きな川だ。 | (6) 昨日は妹も海へ行った。      |

主語の中には「は(が)」とまらないものもあるよ。  
先に述語を見つけてそれに対応する。  
「何が(誰が)」の関係の文節を探してみよう。



三次の文の主語と述語をそれぞれ一文節で書き抜きなさい。(5点×8問)

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| (1) 私は庭に咲くコスモスに水をやる。          | 主語 ( 私は ) 述語 ( やる )        |
| (2) たくさんの人々がマラソン選手に声援を送った。    | 主語 ( 人々が ) 述語 ( 送った )      |
| (3) 来週は卓球部も練習試合に出かけるそうだ。      | 主語 ( 卓球部も ) 述語 ( 出かけるそうだ ) |
| (4) 店頭に並んでいる手ぬぐいも、この地方の特産品です。 | 主語 ( 手ぬぐいも ) 述語 ( 特産品です )  |

点

一次の——線の語を詳しくする文節に○を付けなさい。(5点×4問)

- (1) みかんを 食べる。 (2) 少年は本を買いました。
- (3) 友達と買ったストラップ。 (4) 赤いランドセルに教科書を入れる。

他の文節を詳しく説明する文節を「修飾語」という。



二次の文の中から修飾語を書き抜きなさい。(5点×3問)

- (1) ひまわりの種が落ちている。 ひ ま わ り の
- (2) 図書室は三階にあります。 三 階 に
- (3) 学級委員が司会を務める。 司 会 を

三次の——線の語が修飾している文節を○で囲みなさい。(5点×4問)

- (1) 難しい本を読む。 (2) 新しい法律が施行される。
- (3) おいしい桃を食べる。 (4) 新鮮な野菜を販売する。

修飾語によって詳しく説明される文節を「被修飾語」という。



四次の——線が修飾する被修飾語を書き抜きなさい。(5点×3問)

- (1) 来年の春、私は高校生になる。 春
- (2) 黄色いタオルが廊下に落ちている。 タ オ ル が
- (3) 地元の図書館で静かに本を読む。 読 む

五次の——線の修飾語は、ア・連体修飾語 イ・連用修飾語 のどちらか。記号で答えなさい。(10点×3問)

- (1) モーツアルトのCDを聴きながら勉強する。 ア
- (2) 夏目漱石の作品を授業で学習した。 イ
- (3) 理科の実験を協力して行う。 イ

点

一次の文の中で、前後の文(文節)をつないでいる文節に○を付けなさい。(5点×4問)

- (1) 台風が来た。だから 風が強い。 (2) 明日は祝日だ。しかし、仕事がある。
- (3) 電話、もしくはメールで連絡する。 (4) 書類に住所および氏名を記入する。

理由や条件を表したり、前後の文をつないでその関係を示したりする文節を「接続語」という。

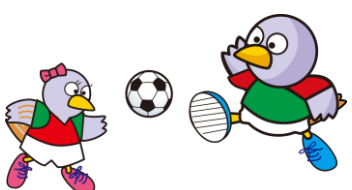
二 次の文の中から接続語を書き抜きなさい。(5点×3問)

- (1) 食事にするか、それとも 風呂に入るか。 

そ	れ
と	も
- (2) 部活は辛い。けれどもやりがいがある。 

け	れ
ど	も
- (3) 頑張ったね。では、終わりにしましょう。 

で	は
---	---



三 次の文から接続語を○で囲みなさい。(5点×6問)

- (1) 台風が 来たから 風が強い。 (2) 明日は 祝日だが 仕事がある。
- (3) 晴れば、明日は試合だ。 (4) どんなに 眠くても、授業中に寝てはいけない。
- (5) 猛練習したのに怪我で欠場だ。 (6) 早く行かないと先輩にしかられる。

文節の終わりに「くから」「くば」「くても(でも)」などがついても接続語の文節になるよ

四 次の文中の( )に当てはまる接続語を後の選択肢から選んで、記号で答えなさい。

(7点×5問)

- (1) キャプテンはとてもまじめで、(ウ) 勇気がある人だ。
- (2) 視力が落ちてしまった。(イ) メガネをつくろう。
- (3) お祭りに行ってもいいよ。(エ)、九時には必ず帰ってきなさいよ。
- (4) キャンプに行くなら長瀬か(オ) 嵐山かどちらにしようかな。
- (5) きれいな花を買ったんだ。(ア) すぐに枯れてしまったよ。

点

ア・ところが イ・だから ウ・しかも エ・ただし オ・もしくは

主語・述語・接続語にならず、他の文節とは直接関係がなく、比較的独立している文節のことを「独立語」という。独立語は大きく次の四つに分けられる。

A 呼びかけ——おい・ねえ・さあ・もしもし・こんにちは

B 感動——ああ・まあ・えっ・おお

C 応答——はい・うん・いいえ・ええ

D 提示——例・東京、それは日本の首都

一次の文の中で、独立語に○を付けなさい。(4点×5問)

- (1) はい、答えは B です。 (2) さあ、行こうか。 (3) うん、それでいいよ。  
(4) 埼玉県、ここが私のふるさと。 (5) どうも、それは助かりました。

二 次の――部の独立語は A 呼びかけ・B 感動・C 応答・D 提示のどれか。記号で答えなさい。(5点×6問)

- (1) いいえ、私は知りません。 C (2) さあさあ、もう寝る時間ですよ。 A

- (3) 浮世絵、それは江戸時代の芸術。 D (4) ああ、なんていい景色なんだ。 B

- (5) はい、こちらは消防本部です。 C (6) ねえ、僕の言うこと聞いている？ A

三 次の各文から ( ) で示されている働きをする文節に――線を付けなさい。

(5点×10問)

- (1) 新しい家にはきれいな花だんも設置された。 (主語)  
(2) 教室のガラスを割ったのは誰ですか！ (主語)  
(3) ああ、ここがあこがれていたステージだ。 (述語)  
(4) 彼のグローブの値段はチームの中で一番高い。 (述語)  
(5) 彼女の誕生日にバラをプレゼントする。 (連体修飾語)  
(6) 視聴者に誤った情報が流れてしまった。 (連用修飾語)  
(7) あんなに注意したのに、なぜ失敗したのか。 (接続語)  
(8) 明日から県大会なので、今日は軽めの練習だ。 (接続語)  
(9) あれ、どうしてここに自転車があるのだろう。 (独立語)  
(10) ほら、こんなに高く積み木ができたよ。 (独立語)



点

一次のA～Hの文の成分はどれになるか。後の( )に入れないさい。(4点×8問)  
 セリヌンティウスは、<sup>A</sup>全てを察した様子でうなずき、刑場いっぱいに鳴り響くほど音高く<sup>B</sup>メロスの右頬を殴った。<sup>C</sup>殴ってから優しくほほ笑み、「<sup>D</sup>メロス、私を殴れ。同じくらい音高く私の頬を<sup>E</sup>殴れ。<sup>F</sup>私はこの三日の間、たった一度だけ、ちらと君を<sup>G</sup>疑った。生まれて初めて君を疑った。君が私を<sup>H</sup>殴ってくれなければ、私は君と抱擁できない。」  
 (太宰 治「走れメロス」による)

主語 (F) 述語 (E・G) 修飾語 (A・B) 接続語 (C・H) 独立語 (D)

二次の文の―線部の文節の文の成分は何か。後の選択肢から選び、記号で答えなさい。

(4点×7問)

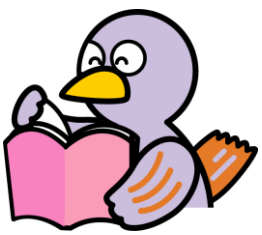
- (1) 自由、なんて素晴らしい響きを持つ言葉だ。 (カ)
  - (2) 君はがんこ者だな。でも、それが長所でもある。 (オ)
  - (3) 昨日のパーティーはとても楽しかったよ。 (ウ)
  - (4) 彼がそんな怒っていたとは、少しも知らなかったよ。 (エ)
  - (5) それは突然の出来事で、誰もが目を疑った。 (イ)
  - (6) 今日は東北地方を除いて、全国的に一日中晴れる。 (エ)
  - (7) 校庭の桜の芽もふくらんできた。 (ア)
- ア・主語 イ・述語 ウ・連体修飾語 エ・連用修飾語 オ・接続語 カ・独立語

三次の文の―線部が接続語であるものを選び、記号に○を付けなさい。(10点×2問)

- (1) ア・この地方でもっとも大きい湖に行った。
- (2)
  - イ・宿題を済ませて、それから遊ぶことにしよう。
  - エ・サトウキビを取り、それから砂糖が作られる。

四次の文の―線部の文節の文の成分は何か。答えなさい。(10点×2問)

- (1) 今朝は家族がそろって食事をした。(修飾語)
- (2) 本当に素敵な人だ、君は。(主語)



点



一 次の文の中で主部(「何が」を表す二つの文節に―線を引きなさい。(5点×2問)

(1) サッカーと野球が得意です。 (2) 赤いバッグが誕生日のプレゼントだ。

二 次の文の中で述部(「どんなだ・何だ」を表す二つの文節に―線を引きなさい。

(5点×2問)

(1) 僕が好きなのはいちごとメロンだ。 (2) 生徒会長はとてもがんばっている。

主語・述語・修飾語などと同じ働きをする二つ以上の文節のまとまりを「連文節」という。連文節となった文の成分を「主部・述部・修飾部」など「部」とよぶ。

三 次の文の中の―線部の文の成分を後の選択肢の中から選び、□に記号で答えなさい。(10点×6問)

(1) 今日の大会は 雨天のために中止された。

ア

(2) そんなに言うならば 君がやるべきだよ。

エ

(3) 心に響く歌を お客さんに届けたい。

ウ

(4) 母は毎日 朝食を作ってくれる。

イ

(5) 海から流れてくる風、なんてさわやかなのでしょうか。

オ

(6) 君と僕の秘密基地も 敵に見つかってしまった。

ア

ア・主部 イ・述部 ウ・修飾部 エ・接続部 オ・独立部

四 次の文の中から述部を探し、○で囲みなさい。(10点×2問)

(1) 来週から水泳の授業が始まるので、水着を 買って おきましょう。

(2) 人間が生きていくために不可欠なのは、水と空気と食べ物だ。

点





一次の各文の―線部の文節相互の関係を後のア～オから選び、その記号を書きなさい。  
（5点×10問）

- |                             |   |   |
|-----------------------------|---|---|
| (1) 野口英世は、世界に 誇るべき 科学者である。  | ― | イ |
| (2) 旅行の 途中での 出来事を話してごらんなさい。 | ― | イ |
| (3) 単身赴任中の 父の 帰る 日が 待ち遠しい。  | ― | ア |
| (4) 雨だから、中止だ。               | ― | ウ |
| (5) 彼はどこかへ行ってしまつて、家にはいない。   | ― | オ |
| (6) おじさんは、十時か十一時には 来られます。   | ― | エ |
| (7) 家ごとに、花が かざつて ありますね。     | ― | オ |
| (8) 君が 困るのも 無理はない。          | ― | ア |
| (9) この問題は やさしい。だから 満点だ。     | ― | ウ |
| (10) ぼくと弟は 顔が 似て いるか。       | ― | オ |

ア・主語・述語の関係	イ・修飾・被修飾の関係	ウ・接続の関係
エ・並立の関係	オ・補助の関係	

二 ―線部に対応する（ ）内で指示される文節を探し、○で囲みなさい。

（10点×5問）

例 赤い ユスモスが庭にきれいに咲いた。 （被修飾語）

- |  |          |
|--|----------|
| (1) 選手は <u>監督の</u> 指示した 作戦を 実行した。        | （ 述語 ）   |
| (2) 選手は <u>監督の</u> 指示した <u>作戦を</u> 実行した。 | （ 被修飾語 ） |
| (3) <u>選手は</u> <u>監督の</u> 指示した 作戦を 実行した。 | （ 主語 ）   |
| (4) <u>学習で</u> <u>大切なのは</u> 復習を必ず 行うことだ。 | （ 被修飾語 ） |
| (5) <u>友達に</u> <u>教わったけれど</u> 全くわからない。   | （ 接続語 ）  |

### 復習

#### 文の成分

主語 … 「だれが・何が」にあたる文節  
 述語 … 「なんだ・どうする」にあたる文節  
 修飾語 … 「どのように・どんな」にあたる文節  
 ※被修飾語…修飾語によって詳しくされる文節  
 接続語…前の文や文節の意味を後の文節に続ける文節  
 独立語…呼びかけ・感動・応答・提示を表す文節



点

一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。（5点×2問）

(1) その言葉だけで意味がわかる単語のことを

**自立語**

といい、

① 単独で文節をつくる。

② いつも文節の先頭に置かれる。

③ 一文節に必ず一つある。

④ 単独で意味がわかる。

という特徴がある。

(2) 単独では文節を作れない単語のことを

**付属語**

といい、

① 単独で文節を作れない。

② 文節の頭には来ない。

③ 一文節に複数含まれることもある。

④ それだけでは意味がわからない。

という特徴がある。

二次の文の自立語と付属語の数をそれぞれ書きなさい。（5点×4問）

① 美術館の 入場者は 週末になると 増える。

自立語

**五**

付属語

**四**

② ああ、この曲は僕が保育園で初めて覚えた曲だ。

自立語

**八**

付属語

**五**

三次の文から自立語を選び、○で囲みなさい。（10点×4問）

① 外は 寒いから コートを 着る。

② その 切手は とても 珍しく、 価値が 高い そうだ。

③ この パンケーキが 雑誌に のり、 行列の できる 店 になった。

④ さあ、 みんなで 協力して 苦境を 乗り切るぞ。

四次の文から付属語を選び、―線を引きなさい。（10点×3問）

① 庭に 赤い 花が 咲く。

② 昨日 覚えた 漢字が テストに 出た。

③ キヤプテンの 声が グラウンドに 響き、 みんなの 気持ち が 一つ になった。



点

一次の文の□にあてはまる言葉を書きなさい。(10点×3問)

○単語には文の中で使われるとき形が

変	わ	ら	な	い
---	---	---	---	---

ものとがある。

変	わ	る
---	---	---

ものと

○文の中で使われるとき、単語の形が変化することを

活	用
---	---

という。

点

二次の文の中から自立語で活用する単語を選び、○で囲みなさい。(10点×5問)

(1) 私の母は料理を○作るの○が○上手だ。

(2) 今日の夜こそ必ず○早く○寝るぞ。

(3) 父は将棋が○強くて僕はいつも○負ける。

(4) 庭に○咲く花を○切って部屋に○飾る。

(5) ○暖かい紅茶にミルクを○入れて○飲む。

自立語は、その言葉だけで意味がわかる単語のことだよ！



三次の文の中から自立語で活用しない単語を選び、○で囲みなさい。(10点×2問)

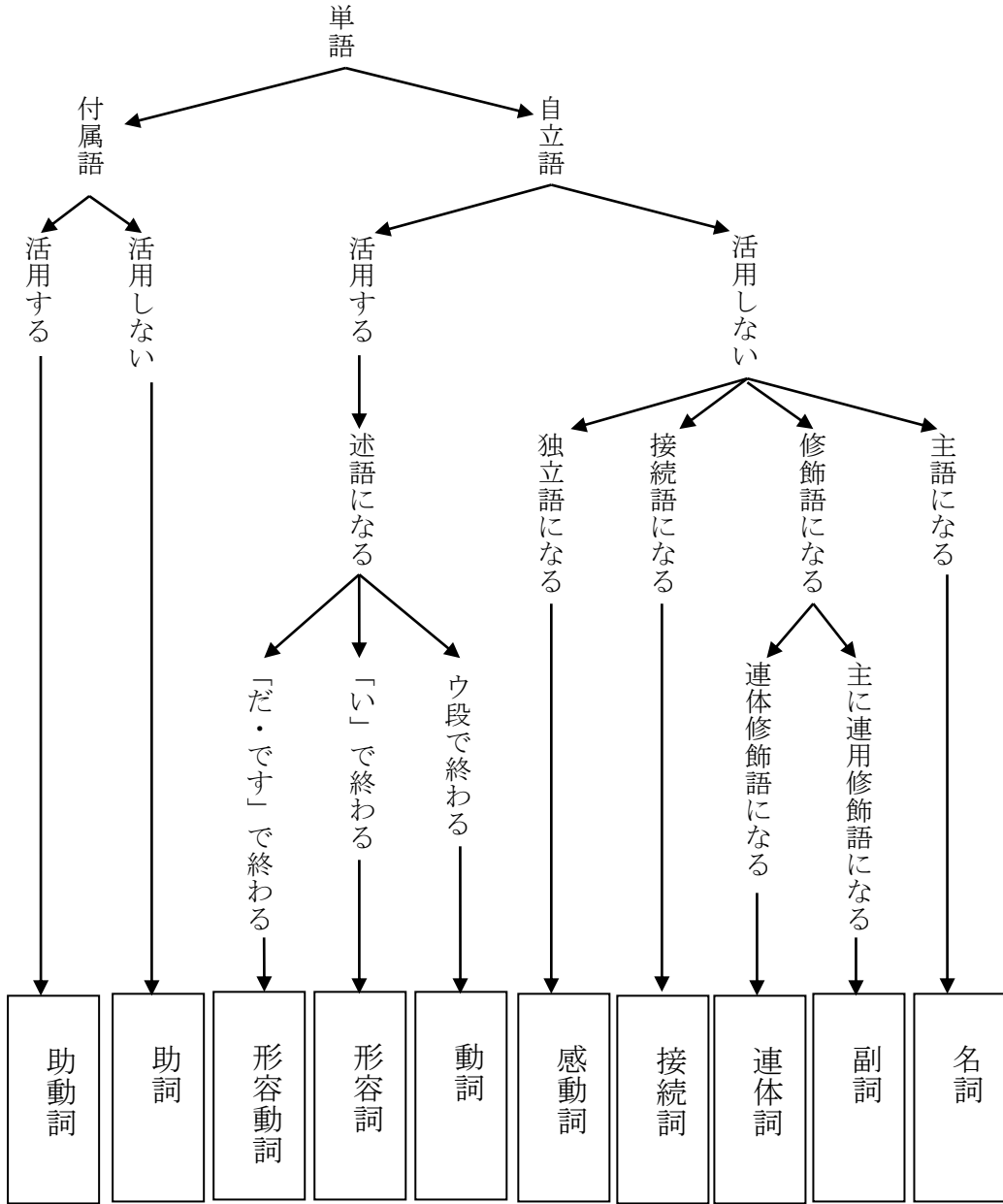
(1) ○昨日の○夜、○家族で○夕飯を○食べる○に行つた。

(2) ○僕の○姉は、○学校の○先生を○している。

一次の文の□にあてはまる言葉を書きなさい。（10点×5問）

○単語を「自立語・付属語」「活用する・しない」という基準で分け、さらに、それがどのような文の成分になるか、また、どんな言い切りの形になるかによって分類したものを品詞という。また、主語になることができる単語を体言、単独で述語になることができる単語を用言という。

二次の品詞分類表を完成させなさい。（5点×10問）



点

一次の各文の―線部の単語の品詞名をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。(10点×4問)

(1) 今日の夕飯は僕の大好きなカレーライスだ。

ア

(2) 昨日の夜は暑くて寝苦しかった。

キ

(3) 今私が一番夢中になっていることは音楽を聴くことだ。

カ

(4) 今年の合唱コンクールは、指揮者に立候補する予定だ。

ケ

ア 名詞	イ 副詞	ウ 連体詞	エ 接続詞	オ 感動詞
カ 動詞	キ 形容詞	ク 形容動詞	ケ 助詞	コ 助動詞

二次の文について、あとの問いに答えなさい。(10点×6問)

・今年の大会にはあらゆる国の人々が大勢集まる予定です。

(1) 自立語で活用のある単語を書き抜きなさい。  
(集まる)

(2) (1)で抜き出した単語の品詞名を書きなさい。  
(動詞)

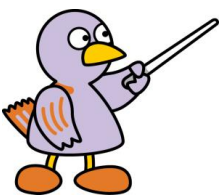
(3) 自立語で活用のない単語をすべて書き抜きなさい。  
(今年・大会・あらゆる・国・人々・大勢・予定)

(4) 付属語で活用のない単語をすべて書き抜きなさい。  
(の・に・は・の・が)

(5) 付属語で活用のある単語を書き抜きなさい。  
(です)

(6) (5)で抜き出した単語の品詞名を書きなさい。  
(助動詞)

点



一次の文から動詞を書き抜きなさい。(10点×2問)

(1) 遠くにスカイツリーがはっきりと見える。

見える

(2) 校庭の花壇にきれいな花が咲く。

咲く

点

二次の―線部の動詞を言い切りの形に直して書きなさい。(10点×3問)

(1) 体育の時間にプールで泳いだ。

泳ぐ

(2) 窓を開ければ、涼しくなるよ。

開ける

(3) 人の嫌がることはしないことだ。

する

三 「書く」という動詞をへーに示す活用形に書きかえなさい。(5点×6問)

(1) 〈未然形〉ノートを( )ない。

書か

(2) 〈連用形〉ノートを( )ます。

書き

(3) 〈終止形〉ノートを( )。

書く

(4) 〈連体形〉ノートを( )ことは大切です。

書く

(5) 〈仮定形〉ノートを( )ば、覚えます。

書け

(6) 〈未然形〉ノートを( )う。

書こ

四次の―線部の動詞の活用形を書きなさい。(10点×2問)

(1) ぼくと一緒に走ろうよ。

未然形

(2) 県大会出場を目指している。

連用形



一次の五段活用の活用表を完成させなさい。(5点×6問)

点

主な 続き方	語例		未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
	書く	か						
う。	ない。	こ	か	き	く	く	け	け
	た。	ます。						
こと	とき		く	く	く	く	け	け
	ば							
う。	ない。	こ	か	き	く	く	け	け
	た。	ます。						

二 活用の種類の見分け方を参考にして、語群の中から五段活用の動詞を五つ探し、書き抜きなさい。(10点×5問)

＊活用の種類の見分け方

動詞に「ない」をつけ、「ない」の直前の音によって分類

①動詞＋「ない」⇨ア段の音⇩五段活用 例 書かない

②動詞＋「ない」⇨イ段の音⇩上一段活用 例 信じない

③動詞＋「ない」⇨エ段の音⇩下一段活用 例 考えない

読む 食べる 寝る 見る 来る 走る  
笑う 歩く する 切る 出る 起きる

読む	走る	笑う	歩く	切る
----	----	----	----	----

三 例文の動詞と活用の種類が同じものを選び、記号を書きなさい。(20点×1問)

(1) 今日、友達と公園で遊んだ。

エ

ア 彼の質問に答えられなかった。

イ 風で木が大きく揺れている。

ウ 明日も彼女が来ればいいと思う。

エ 今年こそ家族で旅行に行こう。





一次の上一段活用と下一段活用の活用表を完成させなさい。

(5点×8問)

語例	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
閉じる	と	じ	じ	じる	じる	じれ	じろ
主な続き方		ーない。 ーう。	ーます。 ーた。	ー。	ーとき ーこと	ーば	ー。

語例	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
調べる	しら	べ	べ	べる	べる	べれ	べよ
主な続き方		ーない。 ーう。	ーます。 ーた。	ー。	ーとき ーこと	ーば	ー。

点

二 活用の種類の見分け方を参考にして、語群の中から上一段活用と下一段活用の動詞を二つずつ探し、書き抜きなさい。(10点×4問)

\*活用の種類の見分け方

動詞に「ない」をつけ、「ない」の直前の音によって分類

①動詞＋「ない」||ア段の音↓五段活用 例 書か|ない

②動詞＋「ない」||イ段の音↓上一段活用 例 信じ|ない

③動詞＋「ない」||エ段の音↓下一段活用 例 考え|ない

上一段活用

着る
起きる

下一段活用

加える
寝る

咲く 洗う 加える 入る 着る 勉強する  
探す 来る 取る 寝る 減る 起きる

三次のー線部の動詞のうち活用の種類が他と異なるものを選び、記号で答えなさい。(20点×1問)

(1)ア 彼のことを信じて待とう。

イ 雨が降って大会が延びた。

ウ 毎日何時に寝ているの。

エ 図書室で本を借りた。

ウ



一次の力行変格活用とサ行変格活用の活用表を完成させなさい。

（5点×10問）

語例	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
来る	○	こ	き	くる	くる	くれ	こい
主な続き方		ーう。 ーない。	ーた。 ーます。	ー。	ーこと ーとき	ーば	ー。

語例	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
する	○	させし	し	する	する	すれ	せしろ
主な続き方		ーう。 ーない。	ーた。 ーます。	ー。	ーこと ーとき	ーば	ー。

点

二次のー線部の動詞の活用形を書きなさい。（10点×3問）

(1) 練習せ<sup>レ</sup>ずに上手くはなれないぞ。

未然形

(2) もっと早くく<sup>レ</sup>ればよかったのにね。

仮定形

(3) 昨日は頑張<sup>レ</sup>って勉強しました。

連用形

三次の例文の動詞と活用の種類が同じものを選び、記号で答えなさい。（20点×1問）

(1) テストが終わ<sup>レ</sup>って安心した。

イ

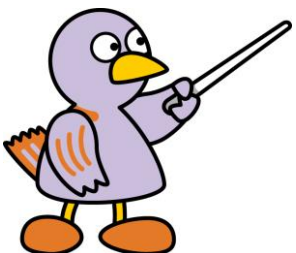
ア 友達が家に遊びにきた。

イ 新しい法律が制定された。

ウ 彼が決勝ゴールを決めた。

エ 秋葉原で電車を降<sup>レ</sup>りた。

例文の動詞を終止形に直して活用の種類を見極めよう



一 ( ) に適切な自動詞または他動詞を書きなさい。(10点×8問)

点

自動詞	他動詞
(1) 話が続く。	話を ( 続ける )。
(2) ペンが ( 落ちる )。	ペンを落とす。
(3) 人が集まる。	人を ( 集める )。
(4) 扉が ( 閉まる )。	扉を閉める。
(5) 色が変わる。	色を ( 変える )。
(6) コップが ( 割れる )。	コップを割る。
(7) 身体が冷える。	身体を ( 冷やす )。
(8) 犬が ( 逃げる )。	犬を逃がす。

二次の動詞の中から「自動詞・他動詞」という分類の上では他と異なるものを選び、記号で答えなさい。(10点×2問)

- (1) ア 建つ      イ 残る      ウ 育つ      エ 抜く
- (2) ア 読む      イ 出す      ウ 並ぶ      エ 折る

ウ

エ

自動詞は、そのもの自体の動作などを表す動詞で、「～が」の形で使われることが多いよ！



一次の―線部の動詞を可能動詞に直しなさい。(10点×4問)

(1) クロールで五十メートル泳ぐ。

泳げる

(2) 英語で書かれた本を読む。

読める

(3) とても上手に歌を歌う。

歌える

(4) お年玉で新しい洋服を買う。

買える

点

二次の文から補助動詞を書き抜きなさい。(10点×4問)

(1) ここに置いてある本は僕のものだ。

ある

(2) ちょっとノートに書いてみる。

みる

(3) 元気な少年が一生懸命走っている。

いる

(4) 子供たちの元気な声が聞こえてくる。

くる

可能動詞は、「～できる」という意味が含まれているんだよ



三次の動詞の中から可能動詞を選び、記号で答えなさい。(10点×1問)

(1) ア 助ける    イ 書ける    ウ 集める    エ 受ける

イ

四次の各組のどちらが補助動詞か。記号で答えなさい。(10点×1問)

(1) ア 友達にプレゼントをあげる。

イ

イ 友達の宿題を見てあげる。

一次の―線部の動詞の活用の種類をあとから選び、記号で答えなさい。

(10点×8問)

点

- (1) 向こうにいる友達に大声で叫んだ。
- (2) 今週の土曜日に彼と会う予定です。
- (3) 相手の目を見て話をしなさい。
- (4) あの洋服を買おうと思っている。
- (5) 彼女と話もせずに別れてしまった。
- (6) 思っていた以上にたくさんの人が来た。
- (7) こんなにたくさん食べられないよ。
- (8) もっと彼のことを信じてあげなよ。

ア イ ウ エ オ ア イ ア

カ変とサ変の動詞以外は、「ない」をつけて判断しよう！



ア 五段活用

イ 上一段活用

ウ 下一段活用

エ カ行変格活用

オ サ行変格活用

二次の動詞と活用の種類が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。(10点×2問)

(1) 笑う

ア する

イ 見る

ウ 出る

エ 走る

エ

(2) 溶ける

ア 訪ねる

イ 乗る

ウ 飽きる

エ 来る

ア

一次の―線部の動詞の活用の種類をあとから選び、記号で答えなさい。  
 また、活用形を書きなさい。

(5点×10問)

(1) きつと彼女はここに来ないだろう。

未然 形

(2) ここはひとつ彼に任せることにしよう。

連体 形

(3) もっとしっかり走ってください。

連用 形

(4) もう少し早く起きれば間に合った。

仮定 形

(5) 顧問がいないときは練習させません。

未然 形

点

ア 五段活用                      イ 上二段活用                      ウ 下二段活用  
 エカ行変格活用                      オサ行変格活用

二次の動詞のグループからへに示す分類の上では他と異なるものを一つ選び、  
 記号で答えなさい。(10点×3問)

(1) 〈可能動詞かどうか〉

ア 調べる                      イ 述べる                      ウ 作れる                      エ 任せる

ウ

(2) 〈活用の種類〉

ア 寝る                      イ 生える                      ウ 食べる                      エ 起きる

エ

(3) 〈自動詞か他動詞か〉

ア 続ける                      イ 落ちる                      ウ 届ける                      エ 当てる

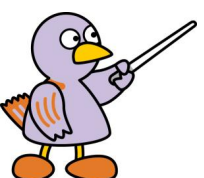
イ

三次の文から動詞を見つけ、終止形と活用の種類と活用形を書きなさい。

(1) この本を借りようと思います。

(20点×1問)

終止形	活用の種類	活用形
借りる	上二段 活用	未然 形



一次の形容詞の活用表を完成させなさい。(5点×4問)

主な 続き方	楽しい	語例	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
	楽し	語幹	かる	うく かつ	い	い	けれ	○
ーう。	ーた。 ーなる。 ーございます。	ー。	ーとき ーこと	ーば	ー。			

点

二次の文から形容詞をそのままの形で書き抜きなさい。(10点×2問)

(1) 昨日は具合が悪かったので、ずっと家にいた。

悪かつ

(2) このケーキはあまり甘くない。

甘く

三次の文から形容詞を見つけ、終止形と活用形を書きなさい。(10点×4問)

(1) この靴はもう古くなったので、買い換えたい。

古い  
連用形

(2) 彼のように心の強い人になりたい。

強い  
連体形

四次の各組のどちらが形容詞か。記号で答えなさい。(10点×2問)

(1) ア 今日は絶対に雨は降らない。

イ

イ 今日のご飯はおいしくない。

(2) ア 彼は細かいことはこだわらない人だ。

ア

イ 彼女は細かな気配りのできる人だ。





一次の形容動詞の活用表を完成させなさい。(5点×4問)

点

主な 続き方	語例	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
	元気だ	元気						
	だろ	だっ	に	で	だ	な	なら	○
	う。	た。	なる。	こと	ば	。		

二次の文から形容動詞をそのままの形で書き抜きなさい。(10点×2問)

(1) 庭にたくさんきれいな花が咲いている。

きれいな

(2) 今日の彼はいつもと違い、とても静かだった。

静かだっ

三次の文から形容動詞を見つけ、終止形と活用形を書きなさい。(10点×4問)

(1) 台風の日川に近づくのは危険である。

危険だ

連用形

(2) バスの方が便利ならそちらを使っているよ。

便利だ

仮定形

四次の各組のどちらが形容動詞か。記号で答えなさい。(10点×2問)

(1) ア あれはとても不思議な出来事だった。

ア

イ あれはとてもおかしい出来事だった。

(2) ア 今年の冬はいつもより暖かく感じられる。

イ

イ 今年の冬はいつもより暖かに感じられる。



一次の語群の中から名詞を三つ選び、書きなさい。(10点×3問)

走る	三個	楽しい
埼玉県	やあ	静かだ
だから	あれ	ゆつくり

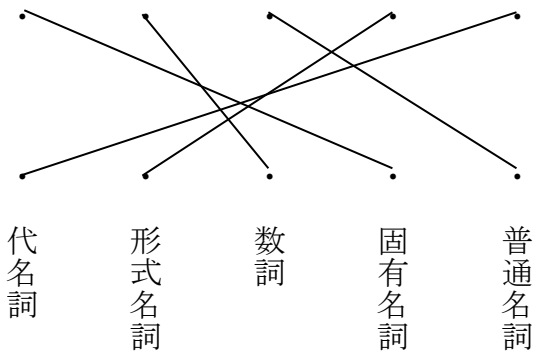
三個
埼玉県
あれ

点
---

二次の——線部の名詞の種類を下から選び、線でつなぎなさい。

(10点×5問)

- (1) この荷物はだれのものですか。
- (2) もっと母の言うことを聞きなさい。
- (3) 橋本さんは父の会社の人です。
- (4) 友達と四時に待ち合わせした。
- (5) 僕の好きな本は「走れメロス」だ。

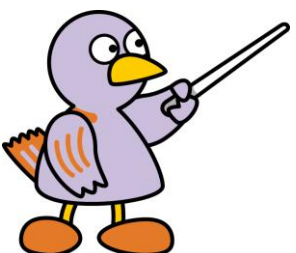


三次の名詞のグループから、他と種類が異なるものを一つずつ選び、書きなさい。

(5点×2問)

- (1) 枕草子 ・ 紫式部 ・ 京都 ・ 物語
- (2) 姉 ・ ぼく ・ 彼女 ・ だれ
- (3) 学校 ・ 埼玉県 ・ 日直 ・ 授業
- (4) こと ・ いま ・ もの ・ はず

物語
姉
埼玉県
いま



一次の文から副詞を書き抜きなさい。(10点×4問)

(1) 近所の家にとっても大きな犬がいる。

とても

(2) 君ならもつと速く走れるはずだ。

もつと

(3) 有名人に会えるなんてまるで夢のようだ。

まるで

(4) 肩をトントントン叩かれてびっくりした。

トントン

点

二次の―線部の副詞が修飾している文節を書き抜きなさい。(10点×3問)

(1) 休日はゆつくり家で家族と過ごしたい。

過ごしたい

(2) これはちよつと前の出来事です。

前の

(3) 彼女はたぶん明日の旅行には来ないだろう。

来ないだろう

。

三次の各組の―線部のどちらが副詞か。記号で答えなさい。(15点×2問)

(1) ア これは母が大切にしているシルクのハンカチだ。

イ

イ 頭に来たので、はつきりこう言ってやった。

(2) ア 宿題はとうに済ませたから安心して遊べるぞ。

ア

イ ここをまっすぐに行って、次の信号で右だ。



一次の―線部の副詞と呼応する言葉を□の中から選んで書きなさい。(10点×6問)

(1) 今日の漢字の小テストはきつと満点( だろう )。

(2) なぜこんなことになったの( か )わからない。

(3) まさか失敗することはある( まい )。

(4) いくら失敗し( ても )、あきらめずに取り組もう。

(5) 今度の日曜日、ぜひ家に遊びに来て( ください )。

(6) 決勝に残れるなんて、まるで夢の( ようだ )。



点

ようだ ・ なら ・ ください ・ か ・ ない  
 だろう ・ まい ・ ば ・ ても

二次の―線部の副詞と呼応する言葉が不適切なものを選び、記号で答えなさい。また、その言葉を一文節の適切な言葉に書き直しなさい。(20点×2問)

(1) ア たとえ苦しかったら、彼は負けないだろう。

イ 県大会に出場できるなんてまるで夢のようだ。

ウ ちつとも悪いことをしていないのに、しかられた。

エ 今日の夜はおそらく雨が降るだろう。

記号

ア

適切な言葉

苦しくても

一次の文から連体詞を書き抜きなさい。(10点×4問)

- (1) ネギはわが故郷の名産の一つだ。

わが

- (2) テスト開始からほんの五分しかたっていない。

ほんの

- (3) 世の中にはいろんな人がいる。

いろんな

- (4) 家の近所に大きな公園がある。

大きな

点

二次の―線部の連体詞が修飾している文節を書き抜きなさい。(10点×4問)

- (1) どのケーキを買おうか迷ってしまう。

ケーキを

- (2) 今日のうちに彼女と例の話をしておこう。

話を

- (3) 母は家のあらゆることを仕切っている。

ことを

- (4) この争いの原因はつまらないことだった。

争いの

三次の各組の―線部のどちらが連体詞か。記号で答えなさい。(10点×2問)

- (1) ア テレビ番組がおかしくて笑ってしまった。

イ

イ そんなおかしいことを言わないでくれ。

- (2) ア ある程度のことは我慢するよ。

ア

イ 庭にある木を植えようよ。



点

副詞 ↓ 活用のない自立語。主に連用修飾語になり、  
用言（動詞・形容詞・形容動詞）を修飾する。

連体詞 ↓ 活用のない自立語。連体修飾語になり、  
体言（名詞）を修飾する

一次の文から副詞と連体詞を見つけ、副詞には―線を、連体詞には＝線を引きなさい。

（10点×6問）

(1) 母から預かった例の品物を必ず先生に届けてください。

(2) 私たちはいかなる暴力にも屈しないことをはっきり宣言する。

(3) あらゆる方法を試してみたが、結果は全く変わらず悔しい思いをした。

二次の―線部の品詞が他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。（20点×2問）

(1) ア いろんな人と交流してみたい。

イ 彼は大した人物だ。

ウ この道をまっすぐ行ってください。

エ いかなる困難にも立ち向かう。

(2) ア たぶん彼は遅刻してくるだろう。

イ 彼はポケットから小さな箱を取り出した。

ウ 彼は絵を描くのがかなり上手だ。

エ しばらく待ったが彼は来なかった。

イ

ウ

副詞と連体詞の  
特徴をしっかり  
確認しよう！



一次の―線部の接続詞の種類を□の中から選び、書きなさい。

（10点×4問）

(1) 彼女の説明は具体的だ。だからわかりやすい。

順接

(2) これで宿題が終わった。さて次は何をしようかな。

転換

(3) 赤、青、緑。つまりこれを光の三原色という。

説明・補足

(4) 途中で足をくじいた。だがプレーを続けた。

逆接

点

順接 逆接 並列・累加 対比・選択 説明・補足 転換

二次の（ ）に入る適切な接続詞を□の中から選び、書きなさい。（10点×4問）

(1) あの店のハンバーグはおいしい。（ ）、値段が安い。

しかも

(2) あの店のハンバーグはおいしい。（ ）、もっと食べたい。

だから

(3) あの店のハンバーグ、（ ）コロッケを食べたい。

もしくは

(4) あの店のハンバーグはおいしい。（ ）、値段が高い。

でも

だから でも しかも もしくは なぜなら では

三―線部が接続詞であるものを選び、記号で答えなさい。（20点×1問）

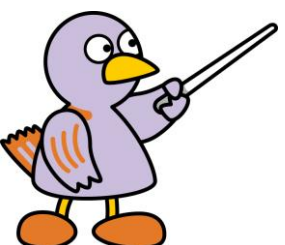
(1) ア 今日もまた気温が高くなるそうだ。

エ

イ 友達に聞いたが、だれも知らなかった。

ウ 図書館に行った。そこで彼に会った。

エ 結果は電話またはメールで知らせます。





一次の文から感動詞を書き抜きなさい。(10点×4問)

(1) こんにちは、今日もいい天気ですね。

こんにちは

(2) これはあなたのものですか。はい、そうです。

はい

(3) もしもし、田中さんのお宅ですか。

もしもし

(4) さあ、練習を再開しよう。

さあ

点

二次の―線部の感動詞の種類を□の中から選び、書きなさい。(10点×4問)

(1) あなたは伊藤さんですか。いいえ、ちがいます。

応答

(2) やあ、久しぶりだね。元気だった？

呼びかけ

(3) さようなら、また明日遊ぼうね。

あいさつ

(4) へえ、そんなことまで知っているんだ。

感動

感動

呼びかけ

応答

あいさつ

三次の各組の―線部のどちらが感動詞か。記号で答えなさい。(10点×2問)

(1) ア ああ言えはこう言うのはやめなさい。

イ

イ ああどうしよう、困ったなあ。

(2) ア ちよつと待ってくださいね。

イ

イ ちよつと、君、待ちなさい。



一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×1問)

格助詞―主に  
**体言**

について文節と文節の関係を示す。

※格助詞は以下の十個 「を・に・が・へ・や・の・と・から・で・より」

二次の文の中から格助詞を探し、―線を引きなさい。(5点×6問)

- (1) 私の弟は学生だ。 (2) 月末は銀行に行く。 (3) ペンは剣より強い。  
(4) 東京と埼玉は近い。 (5) 先生は自動車から降りた。 (6) コスモスがきれいだ。

三次の各文における「の」の意味・用法を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。

(5点×6問)

- (1) 僕は食べるのが大好きだ。 (イ) (2) 誰もいない冬の海。 (ア)  
(3) 厳しい寒さの中を帰った。 (ア) (4) 行くの行かないのと騒ぐな。 (エ)  
(5) 国語の好きな人はいますか。 (ウ) (6) この鉛筆は彼のだ。 (イ)

ア・連体修飾語になることを表す。  
ウ・主語を表す。  
イ・体言の代用を表す。  
エ・並立を表す。

四次の―線部の助詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。

(10点×3問)

- (1) 学校から家まで全力で走る。

ア・暑いからクーラーをつける。  
ウ・あまりの寒さから風邪をひいた。  
イ・父が出張から帰ってくる。  
エ・窓を閉めてから寝る。

- (2) 明日は競技場で大会が行われる。

ア・北海道まで飛行機で行く。  
ウ・海は静かでおだやかだ。  
イ・母は大掃除で忙しい。  
エ・彼女と駅で待ち合わせる。

- (3) 僕は先生にほめられた。

ア・これを君にあげよう。  
ウ・弟と釣りに行く。  
イ・電車が八時に到着する。  
エ・飼う犬に手をかまれる。



点

一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×1問)

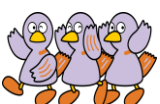
接続助詞

用言

や助動詞に付いて、いろいろな関係で前後をつなぐ。

※接続助詞「ば・と・ても(でも)・けれど(けれども)・が・のに・ので・から・し・て(で)・ながら・たり(だり)・ものの・ところで」など

二次の文の中から接続助詞を探し、一線を引きなさい。(5点×6問)



- (1) 曲を聞きながら寝る。 (2) 晴れれば部活だ。 (3) 雨は降ったがすぐやんだ。  
(4) 寒いので、窓を閉める。 (5) 広くて大きい。 (6) 急がないと遅刻だ。

三次の各文における「て(で)」の意味・用法を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。(5点×6問)

- (1) 体が疲れて動かない。 (ア) (2) 甘くて苦いチョコレート。 (ウ)  
(3) 外は雪が降っている。 (エ) (4) 夏が過ぎて、秋になる。 (イ)  
(5) 教科書を読んでおこう。 (イ) (6) 苦くて食べられない。 (ア)  
ア・確定の順接(原因・理由)を表す イ・単純な接続を表す  
ウ・並立を表す エ・補助の関係を表す

四次の―線部の助詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。(10点×3問)

- (1) 秋になると物悲しい気持ちになる。  
ア・寿司とステーキが好きだ。  
ウ・早くしないと電車が出てしまう。  
(2) 今日はゆっくり休んでいる。  
イ・母は大掃除で忙しい。  
エ・彼女と駅で待ち合わせる。

- ア・北海道まで飛行機で行く。  
ウ・鳥が飛んでいる。  
イ・母は大掃除で忙しい。  
エ・彼女と駅で待ち合わせる。

- (3) 失敗してもあきらめないことが大切です。

- ア・いくら呼んでも返事がない。  
ウ・それは子供でも知っている。  
イ・野球だけでもやりたい。  
エ・桃でも食べようか。

点

一次の文の□に当てはまる言葉を書きなさい。(10点×1問)

### 終助詞

―文や文節の

## 終わり

について話し手・書き手の気持ちや態度を表す。

※終助詞「か・な・や・ぞ・とも・よ・の・わ・ね・さ」など



二次の文の中から終助詞を探し、―線を引きなさい。(5点×6問)

- (1) 君は知っているか。 (2) もう済んだことだよ。 (3) そんな日もあるさ。  
(4) 少年よ、大志を抱け。 (5) このことは忘れるな。 (6) どうなつても知らないぞ。

**副助詞**―いろいろな語について様々な意味をそえる。

※副助詞「は・も・こそ・さえ・でも・しか・まで・ばかり・だけ・ほど・くらい・など・きり・なり・やら・か」など

二次の文の中から副助詞を探し、―線を引きなさい。(5点×6問)

- (1) 台風は進路を変えた。 (2) 彼こそがリーダーだ。 (3) 麦茶でも飲もうかな。  
(4) 数学だけ苦手なんだ。 (5) 朝練で腹筋もした。 (6) 昨日から勉強しかしていない。

三次の―線部の助詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。  
(10点×3問)

- (1) それじゃあ試合には勝てないな。

ア・これをやったのはお前だな。  
ウ・彼には気の毒なことをしたよ。  
イ・ああ、いい天気だな。  
エ・大きなかぶを引き抜こう。

- (2) 他の人はともかく、君は信じてくれるはずだ。

ア・富士山はとても美しい。  
ウ・ここで泣きはしないさ。  
イ・やる気はあるが、続かない。  
エ・投げては取りに行くの繰り返しだ。

- (3) ラグビーも好きです。

ア・A高校には手も足も出なかった。  
ウ・走つても追いつけない。  
イ・タイムが五秒も縮まつた。  
エ・僕も行きます。

点

一次の文には〈 〉の数だけ助詞がある。その助詞に線を引きなさい。(5点×6問)

- (1) 埼玉は関東地方の中央に位置する。〈3〉
- (2) 君と私は友達だからいつも一緒だ。〈3〉
- (3) 昨夜の大雨で柿がすべて落ちてしまった。〈4〉
- (4) ふるさとから旅立つ娘を笑顔で見送るよ。〈4〉
- (5) これくらい君には朝飯前だろう。〈3〉
- (6) 山と海、どちらがいいかしら。〈3〉

二次の各文の―線の助詞の種類を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。

(5点×6問)

- (1) 山が黄色と赤に染まる。 (ア) (2) 太陽はいつでも東から昇る。 (ア)
- (3) A先生は天文学が専門だ。 (ウ) (4) 彼はまだ来ないのか。 (エ)
- (5) 駅に行ったが、会えなかった。 (イ) (6) エースでさえ抑えられない。 (ウ)

ア・格助詞

イ・接続助詞

ウ・副助詞

エ・終助詞

三次の( )に適切な格助詞を書きなさい。

(5点×8問)

- (1) 飛行機(で)イタリアへ行く。
- (2) 孫(に)お小遣いをやる。
- (3) 「駅はどちらですか。」(と)たずねる。
- (4) トランペット(と)ピアノ、両方得意だ。
- (5) 動物園にライオン(を)見に行った。
- (6) 六時(より)前に目が覚めた。
- (7) 美術(が)好きだ。
- (8) 窓(から)顔を出す。

格助詞……主に体言  
接続助詞……主に用言や助動詞  
副助詞……様々な語  
終助詞……文末に置かれる



助詞の見分けは難しい！  
前に来る語や置かれる位  
置に注目してみよう

点

一次の表の空欄に当てはまる助動詞の種類を書きなさい。

(5点×20問)

点

㉓	㉒	㉑	㉐	㉏	㉍	㉌	㉋	㉊	㉉	㉈	㉇	㉆	㉅	㉄	㉃	㉂	㉁					
です	まい		そうです		ようだ		らしい	ます	た			う よう		ぬ (ん)	たい たがる	せる させる	れる られる					
断定	否定の推量	否定の意志	伝聞	様態 (推定)	比喻	推定	推定	丁寧	想起 (確認)	存続	完了	過去	勧誘	意志	推量	否定 (打ち消し)	希望	使役	自発	尊敬	可能	受け身
はっきりと言いつ切る	…ないだろうという予想	…しないつもりだという気持ち	他から聞いたことを伝える	様子や状態から推し量る	たとえ(まるで)のようだ)	根拠に基づいて推し量る	根拠に基づいて推し量る	丁寧な気持ちを表す	思い出し、思い当たること	今も続いている状態(…ている)	ちょうど終わったこと	現在より以前のこと	何かを一緒にしようと誘う	何かをしようとする	想像・予想する	打ち消す	話し手・書き手が望むこと 話し手・書き手以外が望むこと	他のものにそうさせる	自然にそうなる	敬意を表す(…なさる)	…することが出来る	他のものからそうされる
・とてもすばらしい作品だ。 ・兄は高校生です。	・明日は雪にはなるまい。	・失敗は二度としまい。	・明日は雪が降るそうだ。	・明日は雪が降りそうだ。	・大きくて岩のようだ。	・まだ雪が降っているようだ。	・明日は雪が降るらしい。	・私も行きます。	・これはあなたのでしたね。	・先のとがった鉛筆。	・たった今、駅に着いた。	・昨日はとても寒かった。	・さあ、一緒に帰ろう。	・私も注意しようと思う。	・彼は来ないだろう。	・私は知らない。 ・知らぬが仏。	・彼女はケーキを食べたがる。 ・ケーキを食べたい。	・本を読ませる。 ・朝食を食べさせる。	・昔のことが思い出される。	・先生が来られる。	・朝早く起きられる。	・先生に見られる。

**助動詞**

―体言や用言などいろいろな語について様々な意味をそえる。

「れる・られる・せる・させる・たい・たがる・らしい・ようだ・そうだ・ない・ぬ・う・よう・まい・た・だ・です・ます」

一次の文の中から助動詞を探し、一線を引きなさい。(5点×6問)

- (1) それは誰も知らない。 (2) 国語が好きです。 (3) 会いに行きたい。  
(4) 決して忘れるまい。 (5) 家に帰らせる。 (6) 風が強くなりそうだ。

二次の各文における「れる(られる)」の意味・用法を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。(5点×6問)

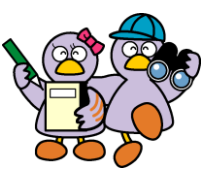
- (1) 彼の身が案じられる。 (ウ) (2) 彼女に話しかけられる。 (ア)  
(3) 先生が話される。 (イ) (4) 霧が晴れたと思われる。 (ウ)  
(5) 私は速く走れる。 (エ) (6) あの子に笑われる。 (ア)  
ア・受け身 イ・尊敬 ウ・自発 エ・可能

三次の―線部の助動詞と同じ意味・用法のものを後から選び、記号に○を付けなさい。

(10点×4問)

- (1) 結婚式は三日前に終わったそうだ。  
ア・これはとても値段が高そうだ。  
ウ・今度こそ優勝できそうだ。  
(2) 外は寒かろう。  
ア・来年もまた頑張ろう。  
ウ・夜はきつと静かだろう。

- イ・明日は晴れそうだ。  
エ・明日は晴れるそうだ。



- (3) 私はもう二度とここへは帰るまい。  
ア・雨はもう降るまい。  
ウ・もう飛ぶまいぞ、この蝶々。

- イ・一緒に素敵な絵を描こう。  
エ・状況に応じて判断しよう。

- (4) 父は仕事に行くらしく、スーツを着ている。  
ア・男らしく勝負しなさい。  
ウ・君はいつも子供らしいことをする。

- イ・失敗を繰り返すまい。  
エ・彼はどこへも行くまい。

点

- イ・そこにいるのは先生らしい。  
エ・学生は学生らしくしなさい。



一次の―線部と同じ意味で使われているものを選んで、記号に○を付けなさい。

(20点×5問)

(1) 私は絶対に行かない。

ア・強風の中歩くのは危ない。

イ・そんなにおいしくない。

ウ・誰も寝てはならない。

(2) 夏はおいしいトマトが食べられる季節です。

ア・市民の安全が案じられる。

イ・果実を害獣に食べられる。

ウ・今夜はごちそうが食べられる。

(3) 明日で面談期間は終わりだ。

ア・教室でフルーツを吹く。

イ・緑がきれいでため息をついた。

ウ・吾輩は猫である。

(4) お腹が減ったから食事にしよう。

ア・少雨から水不足となった。

イ・だから僕は嫌だと言っただろう。

ウ・足が痛いから見学する。

(5) この料理はおいしそうだ。

ア・君はピアノが得意だそうだね。

イ・「星がきれいだね。」「そうだね。」

ウ・明日は晴れそうだよ。

助動詞「ない」⇨文節が「ない」の上で切れない。  
形容詞「ない」⇨文節が「ない」の上で切れる。  
★助動詞「ない」は「ぬ」に置き換えられる。  
例…走れ「ない」⇨走れぬ ○ ⇨ 助動詞  
暑く「ない」⇨暑くぬ × ⇨ 形容詞  
他の単語の一部⇨きたない(汚い)・切ないなど

助動詞「られる」は 四種類！

- ①受け身…「～される」の意味
- ②尊敬…主語が目上の人。
- ③自発…自然とわき上がる感情
- ④可能…「～ことができる」の意味

「で」の識別

- ①格助詞「で」
- ②形容動詞の連用形
- ③助動詞「だ」の連用形
- ④接続助詞「で」

どんな言葉に接続しているか確かめよう。

自立語か付属語か

どんな語に接続しているのか…

文節分けや単語分けから

一つ一ついいねに見ていくと

見分けがついてくるよ！



点